



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月10日

上場取引所 東

上場会社名 GMOフィナンシャルゲート株式会社

コード番号 4051

URL <https://gmo-fg.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉山 憲太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレート サポート本部本部長 (氏名) 玉井 伯樹 (TEL) 03(6416)3881

四半期報告書提出予定日 2024年5月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	9,244	27.2	922	45.2	916	44.6	551	39.9
2023年9月期第2四半期	7,264	62.6	635	71.4	633	71.1	394	68.5

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 577百万円(45.0%) 2023年9月期第2四半期 398百万円(70.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年9月期第2四半期	円 銭 66.52	円 銭 66.32
2023年9月期第2四半期	47.77	47.42

(注) 当社は、2023年1月17日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2023年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年9月期第2四半期	百万円 11,011	百万円 5,329	% 46.3
2023年9月期	9,262	5,115	53.0

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 5,100百万円 2023年9月期 4,913百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年9月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 46.00	円 銭 46.00
2024年9月期	—	0.00			
2024年9月期(予想)			—	52.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,200	20.7	1,410	25.9	1,392	24.9	859	15.1	103.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動
 新規 -社 (社名) 、 除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年9月期2Q	8,339,480株	2023年9月期	8,305,340株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	19,188株	2023年9月期	19,188株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年9月期2Q	8,293,800株	2023年9月期2Q	8,254,844株

- (注) 1. 期末自己株式数には、株式給付信託 (BBT及びJ-ESOP) の所有する当社株式が含まれております (2023年9月期 18,800株 2024年9月期2Q 18,800株)。
 2. 当社は、2023年1月17日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2023年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数 (普通株式) を記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結累計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

当第2四半期連結累計期間（2023年10月1日～2024年3月31日）の業績は以下のとおりです。

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	増減率(%)
売上高	7,264,812	9,244,148	27.2
営業利益	635,642	922,731	45.2
経常利益	633,973	916,784	44.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	394,368	551,697	39.9

a. 売上高

売上高は9,244,148千円(前年同期比27.2%増)となりました。

例年、第2四半期連結会計期間は季節性の影響により多くの加盟店決済取扱高が第1四半期連結会計期間比で伸びづらいつ傾向にあるものの、当第2四半期連結会計期間については訪日外国人数の増加に伴うインバウンド需要の増加も追い風となり、当社の主要KPIである決済処理件数及びGMV（決済処理金額）は第1四半期連結会計期間比で順調に拡大いたしました。

イニシャル売上の大部分を占める決済端末販売は、当第2四半期連結会計期間においても次世代決済端末「stera」が中心を担いました。加えて、店舗の無人化・省人化ニーズの高まりに伴うIoT端末の伸長や、タクシーなどの移動体におけるモバイル端末需要も高く、イニシャル売上に貢献しました。当第2四半期連結会計期間におけるIoT端末の具体的な導入先としては、首都圏の大型スーパーや全国展開する百円均一ショップにおけるセルフレジ、全国展開するコインパーキングにおける無人精算機などが挙げられ、IoT端末の伸長に貢献しました。

また、リカーリング型売上（ストック、フィー及びスプレッドの合計）においては、年末商戦の繁忙期を含む第1四半期連結会計期間と比べて、1～2月の閑散期を含む第2四半期連結会計期間は例年伸び悩む傾向にありますが、当第2四半期連結会計期間については当社決済端末の新規設置に加えインバウンド需要の拡大も寄与し、第1四半期連結会計期間を上回る売上となりました。

当第2四半期連結累計期間の品目別売上高は、以下のとおりです。リカーリング型はストック、フィー及びスプレッドの合計であり、括弧書きの数字はリカーリング型の内訳となります。

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	増減率(%)
イニシャル	5,125,787	6,059,085	18.2
リカーリング型	2,139,025	3,185,062	48.9
ストック	(543,371)	(818,678)	(50.7)
フィー	(1,059,585)	(1,695,922)	(60.1)
スプレッド	(536,069)	(670,462)	(25.1)
合計	7,264,812	9,244,148	27.2

b. 営業利益

営業利益は922,731千円(前年同期比45.2%増)となりました。

高い営業利益成長の背景として、①イニシャル売上の大部分を占める決済端末販売において、利益率の高いIoT端末の売上構成割合が上昇したこと、②決済処理件数及びGMV(決済処理金額)の拡大に伴い利益貢献度の高いリカーリング型売上が伸長したこと、の2点が挙げられます。また、同時に成長を支えるための人材採用、役員員還元、各種成長投資は当第2四半期連結会計期間においても積極的に実施しつつも、売上高拡大に伴うオペレーティングレバレッジ(注)の向上により、高い営業利益成長を実現しております。

(注) 売上高拡大が費用(固定費及び変動費)を吸収し、売上高成長率よりも利益成長率の方が高くなる(利益率が上昇する)構造・原理のこと。

c. 親会社株主に帰属する四半期純利益

親会社株主に帰属する四半期純利益は551,697千円(前年同期比39.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の概況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は9,118,260千円となり、前連結会計年度末に比べ1,613,051千円増加いたしました。これは主に決済端末を今後の販売見通しに基づいて一定水準まで確保したことにより商品が948,244千円、決済端末の販売が順調に推移したことにより売掛金が372,381千円増加したこと等によるものであります。固定資産は1,893,441千円となり、前連結会計年度末に比べ136,410千円増加いたしました。これは主に繰延税金資産が54,107千円減少した一方で、投資有価証券が99,994千円、ソフトウェアが97,966千円増加したこと等によるものであります。

この結果、資産合計は11,011,702千円となり、前連結会計年度末に比べ1,749,461千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3,619,735千円となり、前連結会計年度末に比べ1,014,877千円増加いたしました。これは主に買掛金が481,336千円、預り金が437,604千円増加したこと等によるものであります。固定負債は2,062,812千円となり、前連結会計年度末に比べ521,224千円増加いたしました。これは主に長期借入金が500,000千円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は5,682,547千円となり、前連結会計年度末に比べ1,536,101千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は5,329,154千円となり、前連結会計年度末に比べ213,359千円増加いたしました。これは主に剰余金の配当382,027千円により利益剰余金が同額減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益551,697千円の計上により利益剰余金が同額増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は前連結会計年度末に比べ204,488千円増加し4,208,170千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果、獲得した資金は484,802千円(前年同期は1,196,051千円の使用)となりました。これは主に棚卸資産の増加948,312千円により資金が減少した一方で、税金等調整前四半期純利益916,784千円、仕入債務の増加481,336千円等により資金が増加したものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果、使用した資金は415,588千円(前年同期は293,544千円の使用)となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出310,576千円、投資有価証券の取得による支出99,994千円等により資金が減少したものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果、獲得した資金は135,273千円(前年同期は1,282,990千円の獲得)となりました。これは主に配当金の支払額382,027千円により資金が減少した一方で、長期借入れによる収入500,000千円等により資金が増加したものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月13日に公表いたしました2024年9月期通期連結業績予想につきましては、現時点において変更はありません。通期連結業績予想に対する連結営業利益の上期進捗率が65.4%となっており、下期の事業見通しについても現時点において明確な懸念はありません。したがって、下期連結営業利益については期初予想通りの進捗を見込んでおり、2023年11月13日に公表した通期連結の各利益予想については上回る着地を想定しております。一方、翌期以降の継続的な成長に向けた将来投資は例年通り実施予定であり、現時点では通期連結の各利益予想を据え置いております。

「事業見通しについて明確な懸念はない」と上述したとおり、当社グループが立脚する対面キャッシュレス決済市場は、引き続き行政による推進や決済手段の多様化、訪日外国人数の増加も追い風として、キャッシュレス決済を導入する加盟店の拡大が継続しております。そのような環境の下、2024年9月期下期も引き続き加盟店のニーズに合った決済端末機器の販売、決済処理センターの増強、加盟店及びアライアンス先の新規獲得等に注力してまいります。以上を踏まえ、2024年9月期の連結業績予想は2023年11月13日に公表したのから変更はなく、現時点におきましては売上高19,200百万円(前年同期比20.7%増)、営業利益1,410百万円(前年同期比25.9%増)、経常利益1,392百万円(前年同期比24.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益859百万円(前年同期比15.1%増)を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,015,682	4,216,506
売掛金	920,725	1,293,107
商品	2,396,179	3,344,423
その他	181,151	275,928
貸倒引当金	△8,529	△11,705
流動資産合計	7,505,209	9,118,260
固定資産		
有形固定資産	84,575	79,261
無形固定資産		
ソフトウェア	1,062,072	1,160,038
ソフトウェア仮勘定	117,035	155,961
顧客関連資産	42,810	21,405
のれん	133,315	111,096
その他	60	60
無形固定資産合計	1,355,293	1,448,561
投資その他の資産		
投資有価証券	—	99,994
敷金	47,033	45,939
破産更生債権等	1,043	1,068
繰延税金資産	237,641	183,533
その他	32,486	36,150
貸倒引当金	△1,043	△1,068
投資その他の資産合計	317,161	365,618
固定資産合計	1,757,031	1,893,441
資産合計	9,262,240	11,011,702

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,075,275	1,556,612
未払法人税等	201,123	316,227
契約負債	89,224	182,245
預り金	375,741	813,345
賞与引当金	392,760	284,669
役員賞与引当金	107,576	104,020
その他	363,157	362,614
流動負債合計	2,604,857	3,619,735
固定負債		
長期借入金	1,500,000	2,000,000
株式給付引当金	4,524	12,839
役員株式給付引当金	23,954	43,418
繰延税金負債	13,108	6,554
固定負債合計	1,541,587	2,062,812
負債合計	4,146,445	5,682,547
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,629,932	1,638,680
資本剰余金	1,643,043	1,651,791
利益剰余金	1,764,019	1,933,688
自己株式	△123,529	△123,529
株主資本合計	4,913,464	5,100,630
非支配株主持分	202,330	228,524
純資産合計	5,115,795	5,329,154
負債純資産合計	9,262,240	11,011,702

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	7,264,812	9,244,148
売上原価	5,518,271	6,543,482
売上総利益	1,746,541	2,700,665
販売費及び一般管理費	1,110,898	1,777,934
営業利益	635,642	922,731
営業外収益		
受取利息	11	21
その他	3	150
営業外収益合計	14	172
営業外費用		
支払利息	1,651	6,119
その他	32	—
営業外費用合計	1,684	6,119
経常利益	633,973	916,784
特別損失		
固定資産除却損	11,920	—
特別損失合計	11,920	—
税金等調整前四半期純利益	622,053	916,784
法人税、住民税及び事業税	182,054	291,339
法人税等調整額	41,450	47,553
法人税等合計	223,505	338,892
四半期純利益	398,548	577,891
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,180	26,194
親会社株主に帰属する四半期純利益	394,368	551,697

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	398,548	577,891
四半期包括利益	398,548	577,891
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	394,368	551,697
非支配株主に係る四半期包括利益	4,180	26,194

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	622,053	916,784
減価償却費	187,930	216,860
のれん償却額	22,219	22,219
賞与引当金の増減額(△は減少)	△119,140	△108,091
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	2,490	△3,556
株式給付引当金の増減額(△は減少)	2,178	8,315
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	5,988	19,463
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,696	3,200
固定資産除却損	11,920	—
受取利息	△11	△21
支払利息	1,651	6,119
売上債権の増減額(△は増加)	△549,497	△372,381
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,624,534	△948,312
仕入債務の増減額(△は減少)	492,692	481,336
預り金の増減額(△は減少)	123,806	437,604
その他	△66,260	△12,303
小計	△878,816	667,238
利息の受取額	11	21
利息の支払額	△1,651	△6,119
法人税等の支払額	△315,594	△176,338
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,196,051	484,802
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△66,968	△5,017
無形固定資産の取得による支出	△226,560	△310,576
投資有価証券の取得による支出	—	△99,994
その他	△15	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△293,544	△415,588
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,000,000	—
長期借入れによる収入	500,000	500,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	23,890	17,495
自己株式の取得による支出	△1,137	—
配当金の支払額	△239,539	△382,027
その他	△223	△194
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,282,990	135,273
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△206,605	204,488
現金及び現金同等物の期首残高	2,387,185	4,003,682
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,180,579	4,208,170

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、対面決済サービス事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。